

芸術としての写真を追求し、これからのライフワークに

北田 美希さん (写真学科 / 2年次から編入学し3年半で卒業)

趣味として写真撮影を楽しんでいた私。現代アートも好きで、芸術としての写真作品を作りたい、そのための技術や知識を体系的に学びたいと思うようになりました。仕事を持つ社会人が写真表現を学べる場は限られており、高校時代に漠然と憧れていた大阪芸術大学の通信教育部に入学を決めました。

社会人が大学で学ぶには、職場や家庭など周りの協力が欠かせませんが、実際にはなかなか理解を得られにくいことも。でも時間の経過や自分の努力次第で、周囲の状況も良い方向に変わっていきます。大人になってから自ら選択した大学での学びは、つらい時があっても総じて楽しく、やりがいのあるものでした。

新型コロナで非常事態宣言が発令された時は、卒業制作の撮影ができなくなって、やむを得ず半年間休学。先の見えない中、いつ作品を完成させられるのか、卒業できるのかと不安がつのりました。それだけに、完成させた卒業制作で学長賞をいただいたのは心から嬉しかったです。今後の作品制作の励みとなり、ライフワークとして取り組んでいこうと意欲が高まりました。これからもさらに広く芸術について学び続け、自分の中に多くの引き出しを作って、作品作りにかかしていきたいと思います。

